

### 過疎地域対策

大野 秀郎 議員  
(新政みえ/多気郡選出)

#### 問

県内の過疎および準過疎地域は、依然として人口減少に歯止めがかからず高齢化が進んでおり、産業にも元気がありません。

①過疎地域自立促進特別措置法が平成22年3月に失効するため、県は市町とともに新過疎法の制定を国に求めています。その中で、過疎をくい止め、地域が元気になる政策として、どのようなものを国に求めていくのか伺います。

#### 答

過疎地域の活性化のためには、「集落維持対策」「移住・交流施策」さらなる財政支援などの支援策がより一層必要と考えます。

また、過疎地域の持つ豊かな自然環境など公益的機能の価値を認識し、都市部と連携し支え合う施策も重要であり、今後とも、新たな過疎法の制定に向けて、国へ働きかけていきます。



○文化力 ほか

### 新県立博物館の整備

山本 勝 議員  
(自民みらい/桑名市・桑名郡選出)

#### 問

新県立博物館の建築と展示の設計概要では、県民・利用者が主役であり、一人ひとりが貴重な三重の自然や歴史・文化などの資産に親しみ、新たな創造へとつなぐことができる施設の基礎が描けたと説明がありました。

新博物館のわくわくドキドキするような、県内外へ自信を持って発信できる素晴らしい部分とはどういうことか伺います。



全体イメージ図

#### 答

ただ見せるのではなく、「感じる」「展示活動に参加できる」などの工夫をし、自分とつなげて展示を理解し、心に残る場としたいと考えています。

また、県民・利用者の皆さんの主体的な博物館活動の支援を行う「交流創造エリア」を中核とした空間づくりや、「子ども体験展示室」なども整備します。

○緊急雇用・経済対策 ほか

### スポーツの振興

館 直人 議員  
(新政みえ/三重郡選出)

#### 問

平成30年に東海ブロックで開催予定の高校総体は、本来は三重県の単独開催の輪番のため、本県案を尊重するとされており、中心的な取り組みが不可欠です。高体連など関係機関と協議を重ね、本県の開催競技数などの案を作成すると思いますが、全29競技中、18競技程度の開催は必要です。今後の本県のスポーツ振興施策を左右する重要な問題ですが、どう対応するのでしょうか。

高校総体は、出場する選手や多くの関係者に夢・希望・感動を与え、スポーツ振興に寄与するものと考えています。

#### 答

高校総体の競技の割り振りなどは、東海4県の教育委員会、高体連と情報共有し、検討を重ねており、三重県体育協会や各競技団体と連携しながら、調整を図っていきます。



全国高等学校総合体育大会

○未来につなげる三重県農政 ほか

### 伊賀の医療対策

岩田 隆嘉 議員  
(自民みらい/伊賀市選出)

#### 問

伊賀地域は、医師不足に加え、医療資源も限られており、地域内で完結する医療提供体制の構築が困難となっています。

国では、都道府県が策定する地域医療再生計画の取り組みを支援するため、「②地域医療再生基金」が創設されました。この制度を視野に入れながら、伊賀地域の医療提供体制の構築に、今後どのように取り組んでいくのでしょうか。

#### 答

本県の地域医療の実情を踏まえ、中長期的な視点に立ちつつ、即効性のある取り組みも盛り込み、戦略的な計画の策定・施策の推進を考えています。

伊賀地域の医療体制について、地元市の検討委員会に県も参画し、効果的、効率的な医療提供体制の構築に必要な支援を行っていききたいと考えています。

○三重県農業の今後 ほか